

地方独立行政法人堺市立病院機構
令和 3 年度の業務実績に関する評価結果報告書
(案)

令和 4 年 7 月

堺 市

《 目 次 》

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	
（Ⅰ）大項目評価	4
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	6
第3 財務内容の改善に関する事項	7
第4 その他業務運営に関する重要事項	8
（Ⅱ）小項目評価	9
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	
1 市立病院として担うべき医療	13
2 生活習慣病への対応	27
3 患者に寄り添った信頼される医療の提供	37
4 地域への貢献	46
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	
1 効率的・効果的な業務運営	55
第3 財務内容の改善に関する事項	
1 安定的な経営の維持	63
第4 その他業務運営に関する重要事項	
1 環境にやさしい病院運営	68
第5 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画	70
第6 短期借入金の限度額	70
第7 剰余金の使途	70
第8 地方独立行政法人堺市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める 業務運営に関する事項	71
《参考資料》	
・地方独立行政法人堺市立病院機構 業務実績評価等の基本方針	73
・地方独立行政法人堺市立病院機構 年度評価実施要領	75
・小項目評価における目標指標の取り扱い	77

はじめに

堺市長は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人堺市立病院機構の令和3年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会条例第2条第1項第2号の規定に基づき、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会の意見を踏まえ、平成30年4月1日に決定した「地方独立行政法人堺市立病院機構 業務実績評価等の基本方針」及び「地方独立行政法人堺市立病院機構 年度評価実施要領」に基づき評価を行った。

堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会 委員名簿

氏名	役職名等	備考
嶋津 岳士	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 総長	委員長
西川 正治	一般社団法人堺市医師会 会長	職務代理
北村 愛子	大阪公立大学 大学院看護学研究科教授	
田中 雅人	大阪ガス株式会社 大阪・奈良・和歌山地区統括支配人	
原 繭子	公認会計士・税理士・公認不正検査士	

地方独立行政法人堺市立病院機構令和3年度の業務実績に関する評価結果

第1項 全体評価

1. 評価結果

地方独立行政法人堺市立病院機構における令和3年度の全体評価の結果は、
『全体として中期計画の達成に向けて計画どおり順調に進捗している』 である。

2. 判断理由及び考慮した事項

令和2年1月の新型コロナウイルス感染症の国内感染の確認以降ウイルスは新たな株へと変異しながら、これまでに第1波から第6波まで感染の波を繰り返し、現在も予断を許さない状況が続いている。

そのような状況の中、堺市立総合医療センターにおいては、通常診療への影響を最小限に抑えながら、また、職員への負担にも配慮を行いながら、行政と連携し長期間にわたり新型コロナウイルス感染症に対し、予防、検査、治療、相談等多岐にわたり対応を行ってきた。

令和3年度の業務実績に関する評価に当たっては、これらの実績を、長引く新型コロナウイルス感染症による影響を考慮して令和3年9月に改訂した年度計画に基づき行った。

令和3年度の業務実績に関する評価については、次頁以降に示すように、第1から第4までの4つの大項目について、全て「評価A（中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる）」と判断した。この結果に加え、次に記載の重点ウエイト小項目3つのうち1つの項目が評価5、残り2項目が評価4を取得していることを考慮し全体評価を行った。重点ウエイト小項目の評価の概要は次のとおり。

① 救急医療について

新型コロナウイルス感染症の重症患者受け入れのため、一時的に救急患者の受け入れ停止を公表することとなったが、その期間中も患者の状態に合わせ自院での受け入れや他院への受け入れ調整を行うなど、患者への影響を最小限に抑えた。

救急搬送応需率は目標指標を達成し、新型コロナウイルス感染症拡大前と変わらない数値を維持している。また、地域医療機関との救急患者受入の輪番体制構築や、新型コロナウイルス感染症の流行下における救急告示病院連絡会で中心的な役割を果たすなど、地域の救急医療体制の充実に貢献した。（評価4）

② がんへの対応について

術前、術後の補助療法を組み合わせた集学的治療の実施や、強度変調放射線治療（IMRT）や定位放射線治療による高精度放射線治療、画像下治療（IVR）の多様な活用等質の高いがん医療の提供を行った。また、がん相談、転院相談、在宅・ホスピスに関する相談件数は前年を大きく上回っており、相談しやすい体制が推進した。（評価4）

③ 安定的な経営の維持について

後方支援病院の確保などによる効率的な病床運用や、診療報酬請求体制の強化による増収と、診療材料費の価格交渉、在庫医薬品の適正管理による経費削減が効果を上げていることに加え、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ病床確保補助金等の収入確保により非常に高い経常収支比率を達成した。（評価5）

3. 項目別評価の集計結果

大項目		評価 項目数	小項目評価数					大項目評価
			5	4	3	2	1	
第1	市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	13	1	9	3			A
第2	業務運営の改善及び効率化に関する事項	4		2	2			A
第3	財務内容の改善に関する事項	1	1					A
第4	その他業務運営に関する重要事項	1			1			A
合計		19	2	11	6			
(再掲) 重点小項目		3	1	2				

4. 評価にあたっての意見、指摘等

- 新型コロナウイルス感染症対策を含め、行政及び他の医療機関と連携しながら地域に必要な医療を提供し、公的使命を果たすことを願います。
- 今後も黒字収支を維持し、健全経営に努めていただきたい。
- 職員の健康と安全に十分配慮し、自律性があり、機動性と透明性の高い組織運営に努めていただきたい。

第2項 項目別評価

(I) 大項目評価

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり 進んでいる	B おおむね計 画どおり進 んでいる	C 計画よりや や遅れてい る	D 大幅に遅れ ており重大 な改善が必 要
------	--------------------	---------------------	-----------------------------	--------------------------	-----------------------------------

ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。特に、1－(4) 災害・感染症・その他緊急時の医療は、さまざまな取り組みを評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断した。また、年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、1－(1) 救命救急センターを含む救急医療、1－(2) 小児医療、2－(1) がんへの対応、2－(2) 高度・専門医療の包括的提供、2－(3) 健康寿命の延伸に向けた予防医療の推進、3－(3) 患者の視点に立った医療・サービスの提供、4－(1) 地域の医療機関との連携推進、4－(2) 医療従事者の育成、4－(3) 健康を支える環境整備に向けた行政全般等との連携と協力の9項目である。

重点ウエイト小項目である1－(1) 救命救急センターを含む救急医療と2－(1) がんへの対応については、「年度計画を上回って実施している」の評価とした。

これらのことにより大項目の評価結果は、A「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウ エイト 小項目
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 市立病院と して担うべ き医療	(1) 救命救急センターを含む救急医療		○				◎
	(2) 小児医療		○				
	(3) 周産期医療			○			
	(4) 災害・感染症・その他緊急時の医療	○					
	小計	1	2	1			

		小項目評価					重点ウ エイト 小項目
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
2 生活習慣病 への対応	(1)がんへの対応		○				◎
	(2)高度・専門医療の包括的提供		○				
	(3)健康寿命の延伸に向けた予 防医療の推進		○				
	小計		3				
3 患者に寄り 添った信頼 される医療 の提供	(1)医療安全対策・感染対策の徹 底			○			
	(2)医療の質の向上			○			
	(3)患者の視点に立った医療・サ ービスの提供		○				
	小計		1	2			
4 地域への貢 献	(1)地域の医療機関との連携推 進		○				
	(2)医療従事者の育成		○				
	(3)健康を支える環境整備に向 けた行政全般等との連携と協 力		○				
	小計		3				
合 計		1	9	3			
(構成比率)		100.0%					

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり 進んでいる	B おおむね計 画どおり進 んでいる	C 計画よりや や遅れてい る	D 大幅に遅れ ており重大 な改善が必 要
------	--------------------	---------------------	-----------------------------	--------------------------	-----------------------------------

ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、1－(1) 自律性・機動性・透明性の高い組織づくり、1－(2) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）の2項目である。

これらのことにより大項目の評価結果は、A「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウ エイト 小項目
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 効率的・効 果的な業務 運営	(1) 自律性・機動性・透明性の高い組織づくり		○				
	(2) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）		○				
	(3) やりがいを感じ働くことができる職場環境の整備			○			
	(4) 働きやすい病院づくり			○			
	小計		2	2			
合 計			2	2			
(構成比率)		100.0%					

第3 財務内容の改善に関する事項

i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり 進んでいる	B おおむね計 画どおり進 んでいる	C 計画よりや や遅れてい る	D 大幅に遅れ ており重大 な改善が必 要
------	--------------------	---------------------	-----------------------------	--------------------------	-----------------------------------

ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。

この小項目は重点ウエイト小項目であり、経常収支比率の目標指標を大きく上回ったことから、その評価は「年度計画を大幅に上回って実施している。」とした。

大項目としての評価結果については、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ病床確保等による補助金収入が経常収支比率の目標指標を大きく上回る要因となっており、今後の補助金交付が不透明であることを考慮し、A「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とした。

iii) 小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウ エイト 小項目
	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 安定的な経営の維持	○					◎
小計	1					
合計	1					
(構成比率)	100.0%					

第4 その他業務運営に関する重要事項

i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり 進んでいる	B おおむね計 画どおり進 んでいる	C 計画よりや や遅れてい る	D 大幅に遅れ ており重大 な改善が必 要
------	--------------------	---------------------	-----------------------------	--------------------------	-----------------------------------

ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。
このことにより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウ エイト 小項目
	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 環境にやさしい病院運営			○			
小計			1			
合 計			1			
(構成比率)	100.0%					